

今月の題字

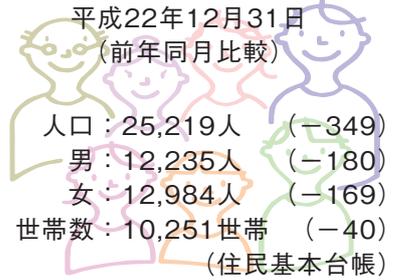


熊野中学校 2年生  
荒谷 晴香さん

町の人口と世帯数

平成22年12月31日

(前年同月比較)



熊野の自然 (257)

ウグイス

(ウグイス科)



春告鳥の異名もあり、詩歌、絵画にも多く登場し、最も親しまれてきた鶯は、町の鳥に指定されています。3月に入ると、ホーホケとたどたどしく鳴き始めます。

「法、法華経」の聞きなしもある、ホーホケキヨの声は、雄が繁殖期に仲間の鶯に対して自分の縄張りを宣言する「さえずり」です。突然けたたましく、ケキョケキョケキョと鳴き続ける「谷渡り」と呼ばれる声は、警戒の時に出します。繁殖期以外は一羽で生活し、チャッチャツという「笹鳴き」をします。冬には庭の生垣などにも来ます。体は、いわゆる鶯色よりも地味な褐色で胸から腹は淡色です。大きさはスズメ

ほどで、尾はやや長めです。冬に、古い巣を見つけることがあります。地上1mくらいで、笹や低木の三叉になった所に、笹やスキの葉を巻いた丸い巣です。笹のある所で繁殖します。産卵は5〜6月、卵は4〜6個、抱卵日数は14〜16日、巣立ちまで14日ほどです。巣作りからのすべてを雌が行い、せっせと雛にクモや昆虫を運びます。一部の鶯は一夫多妻で繁殖します。巣には、しばしばホトトギスが卵を産み、鶯に育てさせます。卵は、両種とも赤褐色で似ています。

我心  
如秤

熊野中学校 2年 貝川 歩美

【評】縦の線を重厚に、安定した字形で書いており、力強さを感じます。



芥子書

熊野中学校 2年 三浦 菜子

【評】片隈の技法を用いた虎を写実的に表現した作品です。獲物を見据える虎の目線の様子と自分の思いを重ね合わせたのでしょうか。

突然けたたましく、ケキョケキョケキョと鳴き続ける「谷渡り」と呼ばれる声は、警戒の時に出します。繁殖期以外は一羽で生活し、チャッチャツという「笹鳴き」をします。冬には庭の生垣などにも来ます。体は、いわゆる鶯色よりも地味な褐色で胸から腹は淡色です。大きさはスズメ

【写真・文】

緑花文化士 富沢由美子

広報「くまの」・熊野町ホームページ  
広告掲載募集!

広告掲載料金には、割引があります。  
(但し、1回の申込で3月分以上の申込が条件。)

月数	割引率
3月以上6月末満	5%
6月以上9月末満	10%
9月以上12月末満	20%
12月	30%

※詳しくは、総務課 TEL820-5601



↑熊野町ホームページ

平成23年度分の広告を募集受付中!

最高割引30%は、1年間(12ヵ月)の一括契約のみです。こちらのご希望は、広報紙は2月末、ホームページは3月18日(金)までにお申し込みください。

